

都へ予算確保を要請 「全力で取り組む」前向き回答

10月13日、東京都庁にて、東京都連が主催する建設国保への補助に関する2024年度予算確保への要請を東京都保険医療局に対して行ないました。全体で41人（東京土建は26人）が参加しました。はじめに田村彰宏専従常任

から、建設業界は資材、ガソリン価格の高騰にも関わらず、十分な価格転嫁ができない実態を報告。さらに建設国保の高い収率率と医療の適正化を図りながらの運営を報告、都費補助の確保、建設国保の育成・強化を要請しました。

ゼロ一つ増やして 現場従事者から怒りの告発



待遇改善を求めて全国から集った医療関係者

7人が参加しました。はじめにザ・ニュースペーパーが岸田首相、菅前首相、志位委員長に扮してパフォーマンスを行ない、会場を盛り上げました。続いて立憲民主党と日本共産党から激励のあいさつがありました。次に、医療、介護、福祉の現場に従事する代表者からそれぞれ発言がありました。介護従事者からは、「1カ月の賃金格差が全産業平均より7万円も低いのに、岸田首相は月額6千円の賃上げの方針を示した。ふざけている。ゼロを一つ増やしてほしい」と実態を述べました。看護現場からは、過酷な労働実態を報告し診療報酬の引上げを求め、医師の立場から

巻頭論文 チャットGPTが導く 未来社会の課題

経済研究者 友寄 英隆

巻頭論文はチャットGPTとその問題点を「東京土建」を例に大変わかりやすい文章で解説してくれ

ます。第1特集は「司法は公正か」をテーマに歪む司法の構造的背景にせまり、第2特集は「実増」に焦点をあてた組織活動の報告です。なおトピックス&レポートは「働くことは美しい」をテーマに写真家・三井昌志



「建設労働のひろば128号」のご案内
んの写真と紀行文を掲載。原色が印象的なインドの労働者たちをぜひご覧ください。「ひろば」のご購読は、所属の支部までお問い合わせ下さい。(128号 10/25発行)



健康保険課長(左から2人目)に要請書を渡す

これに対して東京都の上野国保課長は、「実態を踏まえ現行の補助水準を維持する方針で財政局へ予算要求している。建設国保の安定した運営の実現に向け全力で取り組む」と回答しました。役員からは、「国が今の保険証を廃止してマイナ保険証に一本化すると、これまで仲間

の命と健康を守る誓として守り育ててきた保険証の交付が廃止され、帰属意識が損なわれる。医療費の抑制に向けた検診の呼びかけも弱くなる」と懸念の声が挙がりました。

緊迫の国会前集会 開会直前の訴え続々

10月19日、第95回の総がかり行動が実施され、全体で900人、東京土建からは42人、院議員(立憲)、大橋裕子参

議院議員(社民)、高良鉄美参議院議員(沖縄の風)、赤嶺政賢衆議院議員(共産)が参加。岸田政権が急ピッチで進めている沖縄・南西諸島の基地化、5年総額43兆円を費やす大軍拡政策を厳しく批判し、20日から始まる臨時国会の意気込みを語りました。

9条の会からは、事務局長の小森陽一さんが参加。「岸田政権はアメリカと一緒に、明らかに憲法9条違反して、明らかに憲法9条違反

区へ要望書を提出 協力関係の発展を約束

【中野】 要望書のトップはアセスメント対策。含有調査や処分費用がかり、その負担を施主に理解してもらう難しさを訴えました。あわせて、関係法令とそれに伴う行政窓口が複数にまたがる問題を指摘。国土交通省、環境省、厚生労働省などと、それに対応する基礎自治体の関係を整理し、いわば「横串を刺す」よう、横断的な対応を求めました。新たな要望事項として、区立公園など公共施設のトイレの設置や改修、維持管理を追加。そして子どもたちはもちろん、災害時には被災者が使いやすいよう、防犯、防災の観点から必要だと伝えました。

岸田内閣の発足から10月4日で2年となりました。首相が唱える「成長と分配の好循環」とは裏腹に、私たちの暮らし向きは悪化する一方です。

今月の主張

幅広い分野で「看板政策」を次々と掲げるものの、国民生活優先ではないため具体像が見えません。その代表が「新しい資本主義」です。人への投資や起業支援、デジタル改革は暮らしの向上につながっ

政治の責任で国民守れ

増えるだけです。暮らしに直結する経済や社会保障分野で成果が乏しいのに、防衛力の抜本的強化や原発回帰、マイナパン、保険証の実質義務化という重大な

岸田首相は新たな経済対策を閣議にかけ、その真付けとなる23年度補正予算案を10月20日召集の臨時国会に提出しました。「物価高に直面する国民の生活を守り抜く」という言



行動に参加した仲間のみなさん



酒井区長に要望書を渡す中野支部の役員

一方、酒井区長からは、住宅デーなどの地域イベント、人材育成支援事業など学校教育への協力について、謝辞が述べられました。協力関係のさらなる発展を約束して要請は終了。参加は阿部執行委員長をはじめ、6人でした。